



# 隊友四街道支部便り



令和6年6月号 支部事務局  
副支部長：奥村（090-8728-7838）

## 皆さん、ご存知でしたか！ 公益財団法人「陸修偕行社」が発足

かい こう  
**偕 行**

**56**  
偕行 2024  
令和6年5・6月

陸修偕行社機関誌



偕行社と陸修会の合同表明会

陸修偕行社のスタート

旧陸軍将校や陸自幹部のOBで組織する「公益財団法人偕行社」（理事長・火箱芳文元陸幕長）と陸自OB組織「陸修会」（理事長・森勉元陸幕長）は令和6年度から新組織「公益財団法人陸修偕行社」として発足しました。両組織が一つとなることで、陸自の活動支援が更に充実することが期待されます。旧陸軍関係者から元幹部自衛官の有志が継承した偕行社は伝統と基盤はあるものの、その入会促進が滞る等存続に関わる課題を抱えていました。一方の陸修会は、幹部退官者全員が会員となる会員制度を採用していますが、発足して間もないため、資産や組織力などがまだ十分ではない等の課題があり、この状況の中、これらの課題が解決できるとして、両組織が一つになり新理事長に火箱氏が就任しました。発会の目的に沿って発展されることを期待します。



ヒゲの隊長  
参議院議員佐藤正久メルマガ

「中国軍の偵察攻撃型無人機」

防衛省は、中国軍の偵察攻撃型無人機が、沖縄県の北の東シナ海に上空を飛行したと発表しました。防衛省によると、緊急発進でこの無人機の機種を確認したのは初めてだと言います。これまでいろいろなタイプのドローンが日本の周辺に来ていて、特に東シナ海から沖縄本島と宮古島の間の沖宮海峡を抜けて太平洋に出て、そこから西の方に行って台湾と与那国島の間を北上するなど、この宮古、石垣、竹富、与那国、多良間の先島諸島を囲むように飛んだりもしていて、今回確認した中国の無人機、これは最新鋭のもので、航続距離が非常に長くと行動半径で約290キロ範囲、巡航速度も最大550キロと、攻撃用と偵察用というふうに言われています。高度も1万4,000から1万5,000といわれていて、非常にこちら対処しづらいというものを中国がさらにこういうものにAIを組み合わせて、自律型のドローンというものも開発中ですので、これから本当にドローンというものが空中だけでなく水上、水中というものに広がりますので、この日本の空、海の守り、非常に厄介になると思います

(6/14配信メルマガ)

## 「四街道支部役員会議」を開催しています

四街道支部は年度の事業計画に基づき2ヶ月に1回を基準に役員会議を実施しています。今回は6月15日（土）大日萱橋台区自治会館において、筒井支部長、奥村副支部長はじめ12名の理事が出席し、来年1月に予定している新事業「新年交流会」の実施大綱の審議、年内の主要事業等に関する情報共有を図りました。支部の運営、活動に関する事項を審議、報告する貴重な機会ですので、地区理事の皆さんも含めて多くの方の出席をお願い致します。

## 自衛官募集

Japan Self-Defense Forces

7/1から高校生に対する自衛官の募集活動が解禁されます。近年、特に

採用計画の80%以上を占める、自衛官候補生、一般曹候補生の募集が危機的状況です。自衛隊千葉地方協力本部への支援にもつながる会員皆様からの情報提供をお待ちしております。

## 各種イベント案内及び皆様へのお願い！

○下志津駐屯地「サマーフェスタ」（夏祭り・花火大会）

8月6日（火）に開催されます。地域唯一の花火の「大輪」を堪能しませんか！

○秋の下志津駐屯地環境整備（「鎮の庭」）について

千葉県殉職者慰霊式が10月に実施予定ですが、これに先立ち、9月下旬（実施日未定）に「鎮の庭」の整備を予定しております。今回も地元四街道支部から多くの会員の皆さんの参加を期待しています。宜しくお願いします。

次回の役員会：8月17日（土）0900～1000 ※大日萱橋台区自治会館